

## 事業計画書

<p>現在の地域課題に対する本事業での実施内容</p>	<p><b>課題(1) 市民が「幸せを感じられる」機会や場が必要</b>                  【佐久市 あなたは幸せだと思いますか？令和7年度佐久市民調査結果】は、「大いに思う16.9%、思う55.4%」の一方、「どちらともいえない19.6%、あまり思わない4.3%、思わない1.4%」で、4人に1人(25%)が幸せの実感が低い。第二次佐久市総合計画後期基本計画基本理念では市民目線で幸福や満足を生み出すことを目指している。                  →本事業では市民がより多くの「幸せを感じられる」活動を行う。</p> <p><b>課題(2) 「繋がり」「助け合い」「共につくる」機会や場が必要</b>                  【R7教育関係者との懇談より】                  「地域で子どもを育てる」ことが課題である。近年、佐久地域で困っている子ども(家庭)がいても見過ごされてしまったり、困っていても頼ることが難しかったりする現状がある。身近な「助け合い」「共につくる」意義を感じられる機会や場が求められる。学校・地域・自治体・ボランティア・多様な人々と連携すること等が必要である。                  →本事業では市民が「繋がり・助け合い・共につくるを感じられる」活動を行う。</p> <p><b>課題(3) 「孤立感」「生きづらさ」への佐久市全体の理解支援が必要</b>                  【R7発達障がい児の家族との懇談】【R8.1月佐久聴覚障がい者協会意見交換会】【R7高校生との懇談】より・・・佐久市の発達障がい児やその家族の『孤立感』が課題である。発達障がいへの理解と支援を、特定の個人や近隣自治体に頼るのではなく、市全体として『教育・福祉・インフラ』の各面から底上げをし、誰もが孤立しない仕組みづくりが必要。聴覚障がい者に寄り添う市民の理解支援、高校生や若者の「生きづらさ」に寄り添う場や理解支援も必要である。                  →本事業では、上記の「理解支援に繋がる」活動や場の設定を行う。</p>
<p>対象 人・範囲</p>	<p>全佐久市民 (特に小中学生, 高校生, 大人)</p>
<p>事業の効果、達成目標</p>	<p>・佐久平交流センターイベント参加人数延べ500人以上を目標とする。                  ・佐久平交流センターの集客, ボランティア増加につながる工夫をする。</p> <p><b>【事業の公益性】</b>                  ・市民が、幸せについて考えたり感じたり、生きる希望を持ったりできる。                  ・佐久市手話言語条例に基づく理解・活動の繋がり, 広がりがある。                  ・ボランティアの学生・高校生の意欲の向上, 生きる力の育成につながる。                  ・活動後, 市民の声をきく。市民と情報共有する。→今後の活動の有益につなげる。</p>
<p>記載ポイント 事業の公益性</p>	<p><b>【活動内容】</b>                  ①ALS闘病中 有坂栄康さんの命のメッセージと音楽のイベント・手話と音楽のイベント                  ・9月13日(日)佐久平交流センター ホール                  午前 命のライブ 趣旨に賛同のアーティスト招待 (無料開催)                  午後 佐久市出身アーティスト・手話アーティスト招待 イベント (有料開催)                  ・趣旨にそったグッズ販売, 絵本の紹介など                  ・募金の呼びかけ (団体活動資金)                  ・SNSを利用した広報, 協賛金や寄付の呼びかけ, チラシの作成                  ②佐久市各種学校での「命のライブ」 (日程は未定)                  ③中高生・学生・大人と団体が【ともにつくる新たな学びの場】として, ともに, ALS・難病・障がい・幸せについて学んだり, イベントを盛り上げたりする。</p> <p><b>【独自性】</b>                  ・ALS闘病からの渾身の命のメッセージと仲間達の「命のライブ」, また「音楽と手話アーティストのライブ」は, 奇跡的な, 価値あるライブイベントである。参加者は, 自分事として, 幸せや生きる希望について考えたり感じたりすることができる。来場者誰もが幸せや希望を感じられるような工夫をしていく。若者は障がいを理解したり, 社会との繋がりを感じることができる。</p> <p><b>【発展性】</b>                  ・共感する仲間が増え, 人々の繋がりが広がっていく。ボランティア, 参加者, 地域住民, 地域企業などのニーズに合う形でイベント内容を工夫していくことができる。                  ・市民の社会参加のきっかけに繋がる。</p> <p><b>【実現可能性】</b>活動に思いのある仲間・市民活動経験豊富な仲間・応援してくれる仲間がいること, 決定している企画に向けて定期的に会議を重ねているため実現可能。</p> <p><b>【団体の自立促進】</b>寄付金・募金・グッズ売上金での資金確保, ボランティアの確保</p>
<p>重点テーマに該当する理由</p>	<p>設立後3年以内の団体の取り組みのため, 「8若者, 新規事業応援」に該当。</p>
<p>翌年度以降の取組</p>	<p>・今年度同様, イベント実施や参加者との交流を深めていく。周知の工夫, 財源確保の検討, 活動内容, ボランティアとの関わり方などについて振り返りをしながら, 市民目線の具体的な有意義な活動を目指していく。</p>